



報道発表

2020年11月10日

株式会社ペルセウスプロテオミクスへの投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、株式会社ペルセウスプロテオミクス（本社：東京都目黒区、代表取締役：横川拓哉）に対する新規投資を実行いたしました。

○今回の投資の概要

ペルセウスプロテオミクスは、東京大学先端科学技術センターの研究成果を基に設立された創薬ベンチャーで抗体医薬の実用化を主力事業としています。ペルセウスプロテオミクスは京都大学との共同研究により特許を共同出願しており、大学院生命科学研究科の石川冬木教授は同社の科学アドバイザーを務めています。

ペルセウスプロテオミクスの開発パイプラインとしては、抗 GPC3 抗体である PPMX-T001、抗カドヘリン抗体である PPMX-T002 が共にフェーズ 2 段階に達しています。また、トランスフェリンを標的とするユニークな抗体である PPMX-T003 は難病の真性多血症を対象として開発が進んでおり、現在はフェーズ 1 を実施中です。

ペルセウスプロテオミクスは独自のたんぱく質発現技術や抗体作製技術を保有しており、さまざまなたんぱく質に対して親和性の高い抗体を作製できる体制を構築しています。京都 iCAP は同社の高い技術力を評価し、1 億円を新規投資いたしました。ペルセウスプロテオミクスによる今回の資金調達は総額約 8 億 6000 万円であり、KYOTO-iCAP1 号ファンドの他には、DBJ キャピタル投資事業有限責任組合、SBI4&5 投資事業有限責任組合、エムスリー株式会社、アクシル・ライフサイエンス&ヘルスケアファンド 1 号投資事業有限責任組合、GA3 号投資組合、GA4 号投資組合が参加しています。

株式会社ペルセウスプロテオミクス 概要

設立	2001年2月
事業内容	抗体医薬の開発、抗体を活用した新規診断方法の開発
本社所在地	東京都目黒区
代表取締役	横川拓哉

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は京都大学 100% 出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生ま



れた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016年1月には京都大学と民間企業からの出資を受け、京都 iCAP を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL：075-753-5303 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp